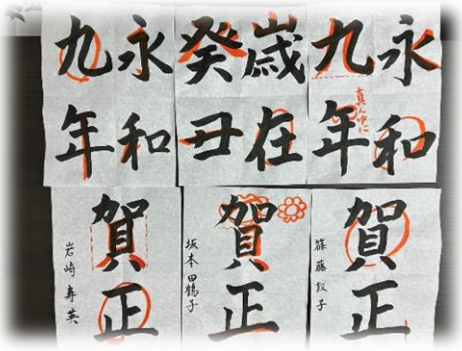
同好会に参加してきました！

「書道・茶道　同好会」

会報・広報委員長　大島弥生

10月13日金曜日、第1回書道同好会が篠藤会員の事務所で開催されました。今回はメンバーの男性陣はお休みでしたので、女子会になってしまいました。筆を持つのは何年？いえ何十年ぶり？
それぞれ、道具を調達、なんと恐るべし100均！筆も下敷きも売っているそうです。
さて、講師を務めるのは、恥ずかしながら私大島弥生です。公民館で書道教室を開き、子供たちに教えたいなぁ～なんて思っていましたが、なんと今回その夢が実現しました。ま、生徒は、元・子供だった方たちではありますが…。

今日のお題は、蘭亭序の初め、「永和9年、歳は癸丑(きちゅう)にあり」と、「賀正」です。
「永」という字には、書道の筆の使い方「止め・はらい・はねなど」があります。この字が上手に書けるといいですね。
100円の筆から6000円の筆を握りしめ、「久しぶり～、楽しい～」とわいわい、いえ、書くときは静かに精神統一して真剣に半紙に向き合い、生徒の皆さん格闘していましたよ！



あっという間の2時間、たくさん練習しました。くたくた～。あれ？おかしいな、なぜか喉もカラッカラです。

ということで、〆はもちろん「はい、皆で乾ぱ～い！！」

さて、次回の書道同好会の課題は、今回の蘭亭序の続きと何か1つ。
蘭亭序は行書374文字ある書聖王義之によるものです。1回8文字、いつ終わることやら…。